

2025年度 シラバス&レクシンプラン

科目	RPA設計
学科	選択科目

講師	青手木 信仁		
学年	2年	前期	○
		後期	

提出	25年 1月 22日		
授業の方法	講義		
講義時限数	15		
単位数	2		

<講義目的> この教科を学び、どのような力・知識が身に付くのか。

RPAを活用してPC業務を自動化し、仕事をスムーズに進める方法を学び、現代のDXに貢献する即戦力のITスキルを身につける

<講義概要>

RPAアプリケーションBizRobot!を利用し、RPA構築の基礎学ぶと同時に、業務プロセスをフロー化できるよう業務を分析する能力を身に着ける。

<授業の進め方>

講義
 グループワーク
 実技・演習
 イールドワーク
 実習
 その他()

<授業計画全体における講義・演習・実習の割合>

講義 40 % 演習 60 % 実習 %

<到達目標レベル(何を、どのレベルに)>

一般的な業務を分析し、自動化できるように流れを理解できるようにする。
アプリケーションの利用方法を理解し、実際に自動化できるようにする。
RPAについての理解を深める。

<レクシンプラン(時限ごとの項目スケジュール概要)>

回	授業計画	テキスト・使用資料その他	学生PC利用
1	RPA概論 人vsロボット課題(学生による手作業と教員によるロボット開発及びロボットの作業スピード比較)	PDFファイル プリント	<input checked="" type="checkbox"/>
2	BizRobo概要説明・RPA開発(ロボットによるWEB入力)	//	<input checked="" type="checkbox"/>
3	RPA開発(ロボットによるExcel入力)	//	<input checked="" type="checkbox"/>
4	RPA開発(Excel-Web間の連携)	//	<input checked="" type="checkbox"/>
5	RPA開発(Web情報の取得、条件分岐)	//	<input checked="" type="checkbox"/>
6	RPA開発(PDFから文字列を取得)	//	<input checked="" type="checkbox"/>
7	RPA開発(Excelから条件に一致する情報を転記する振り分け)	//	<input checked="" type="checkbox"/>
8	ワーク・ある業務に従事する人物(教員)とRPA開発スタッフ(学生)のロールプレイ、業務について聞き取り調査を行う	//	<input type="checkbox"/>
9	ワーク・聞き取り調査に基づいた、改善案を作成する	//	<input type="checkbox"/>
10	ワーク・作成した改善案を提案する。その後、ワーク全体を通してのフィードバックを行う	//	<input type="checkbox"/>
11	RPA開発演習①(以前に行った練習を改めて自力で実施)	//	<input checked="" type="checkbox"/>
12	RPA開発演習②(以前に行った練習を改めて自力で実施)	//	<input checked="" type="checkbox"/>
13	ワーク・初回に行った人vsロボット課題で扱った業務について、業務内容を分析する	//	<input type="checkbox"/>
14	ワーク・分析した業務内容を、ロボットに与えられる指示としてフローを構成する	//	<input checked="" type="checkbox"/>
15	ワーク・分析内容、フロー、これまでにやってきた演習を基に、実際にロボットを作成する	//	<input checked="" type="checkbox"/>

<授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)>

授業で習った範囲を次回の授業までに復習し、授業開始時の復習演習に備える。

<成績評価方法・基準>

試験と 評価方法	<input type="checkbox"/> 試験期間中 <input checked="" type="checkbox"/> 講義時限内	評価 方法	<input type="checkbox"/> 筆記試験(%) <input type="checkbox"/> 実技試験(%) <input type="checkbox"/> 小テスト(%) <input checked="" type="checkbox"/> 受講態度(20%)	<input type="checkbox"/> レポート(%) <input checked="" type="checkbox"/> 作品(80%)	<input type="checkbox"/> その他(%) ↓ ()
---------------------	---	------------------	---	---	---

<教員紹介>

工学修士号を取得後、映像、Webコンテンツ制作業に従事。本授業ではRPA開発に関する知識、業務整理とフロー作成する能力獲得を目指した授業を行っている。